

事務事業名		防災コミュニティセンター整備事業			☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	03 安全なまちづくりの推進			事業期間		予算科目			
	施策名	08 消防・救急・救助体制の充実					会計	款	項	目
	基本事業名	02 消防体制の充実			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】  25 年度 ～ 27 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	09	01	05
根拠法令										
所属	部課名	農林水産部 農林課								
	課長名	尾坪 明								
	係 名	林業係	電話	27-3111						
	担当者	鈴木康司	内線	7125						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
・東日本大震災津波により、合足地区及び甫嶺地区のむらづくり研修施設として整備した集会施設が流失したため、避難所機能、炊き出し拠点施設機能、及び防災備蓄倉庫機能を備えた地域防災コミュニティセンターを浸水地域以外の場所に建設する。 ・合足地域防災コミュニティセンター 木造平屋建166㎡、敷地造成面積570㎡ ・甫嶺地域防災コミュニティセンター 木造平屋建280㎡、敷地造成面積1296㎡ ・合足地域防災コミュニティセンターには防潮堤の水門等遠隔監視操作室を整備し、床面積の比率で按分して費用を岩手県が負担する。					総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	114,430	
								都道府県支出金	15,735	
								地方債		
								その他		
								一般財源	28,608	
								事業費計 (A)	158,773	
人件費	正規職員従事人数	2								
	延べ業務時間	180								
	人件費計 (B)	720								
	トータルコスト(A)+(B)	159,493								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 被災し再建の必要な集会施設 箇所	
・合足地域防災コミュニティセンター敷地造成測量調査設計業務完了 ・合足地域防災コミュニティセンター建設費用負担について岩手県と協定を締結 ・甫嶺地域防災コミュニティセンター敷地造成測量調査設計業務着手		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
・合足地域防災コミュニティセンター建築設計、敷地造成工事、建築工事 ・甫嶺地域防災コミュニティセンター敷地造成測量調査設計、建築設計、敷地造成工事			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・合足地域及び甫嶺地域の住民		名称 単位	
		カ 集会施設利用者 人	
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・災害時の避難所を整備するとともに、公民館として活用することにより地域のコミュニティを維持する。		名称 単位	
		サ 再建に着手した施設 箇所	
		シ 完成した施設 箇所	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・災害に強い街づくりの促進を図る。			

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	単位	千 円			3,552	28,315	82,562	
			千 円			1,707	3,721	10,307		
			千 円							
			千 円							
			千 円		889	7,079	20,641			
			千 円	0	0	6,148	39,115	113,510	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2			
		延べ業務時間	時 間		60	60	60			
		人件費計 (B)	千 円	0	0	240	240	240	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	6,388	39,355	113,750	0	
⑤活動指標			ア	箇所			2	2	2	
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人			436	436	436	
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	箇所			2	2	2	
			シ	箇所			0	0	2	
			ス							

事務事業ID	1607	事務事業名	防災コミュニティセンター整備事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ ・むらづくり研修施設として整備した施設が被災した地域公民館から、合足地域は平成24年8月に、甫嶺地域は平成25年5月に、津波浸水区域以外の建設候補地を決めて再建の要望が出され、復興交付金事業の効果促進事業として事業化した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・東日本大震災後に東日本大震災復興特別区域法が制定され、復興交付金事業により避難所機能、炊き出し拠点施設機能、及び防災備蓄倉庫機能を備えた地域防災コミュニティセンターを整備できることとなった。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・早期に完成するよう求められている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・今回施設整備する地域には避難所として活用できる施設がないため、防災コミュニティセンターを整備することは安全なまちづくりを推進することになる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・被災した施設は市がむらづくり交流施設として整備したものであり、施設が被災したことによって地域の避難所や集会施設がない状態となっており、施設を再建するために他に手立てがないため、市が行わなければならない。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 ・市が整備したむらづくり研修施設で、被災し再建が必要なのはこの2箇所である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・地域の人口規模に合わせた規模の施設である。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ・東日本大震災前には地域に避難所としても活用できる集会施設があったが、この施設がないことにより、東日本大震災の際には個人の住宅や閉鎖した保育所の建物を避難所として使用するなどし、不便をきたした。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・国の交付金事業であるため他の事業との統廃合はできない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最も効率的な仕様により実施している。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・担当職員と業務時間は最低限である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・市の施設を復旧する事業であり、地元の負担は求めない。	

事務事業ID	1607	事務事業名	防災コミュニティセンター整備事業
--------	------	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	・避難所の確保は喫緊の課題であり、早期に完成するよう努める。																											
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																										
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・工事単価の高騰のため事業費の見直しを行いながら進める必要がある。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																										
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																												

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	課長	尾坪 明
-------	----	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																												
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																												
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																										
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	防災コミュニティ施設として、避難所の機能も有することから早期の整備が必要である。																											
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																										
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 工事単価の高等などから建設に係る経費のも直しと共に、早期に整備することにより、市民の安全確保に努める必要がある。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																										
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
